

観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和3年11月19日

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを○ で囲むこと	広域連携DMO・地域連携DMO・ 地域DMO	
観光地域づくり法人 の名称	株式会社薩摩川内市観光物産協会	
マーケティング・マネ ジメント対象とする 区域	区域を構成する地方公共団体名 鹿児島県薩摩川内市	
所在地	鹿児島県薩摩川内市	
設立時期	平成25年4月1日	
職員数	55人【常勤55人（役員1人、正職員27人、契約・パート27人）】 ※非常勤役員11名	
代表者（トップ人 材：法人の取組につ いて対外的に最終的 に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 今藤 尚一 （出身組織名） 薩摩川内市商工会	商工会会長として17年間リーダーシップを発揮すると共に、観光物産協会の代表者として地域事業者の所得向上と雇用の維持拡大こそが全国でも稀な観光物産協会の使命と明確に打ち出し、積極経営を展開している。
代表者（トップ人 材：法人の取組につ いて対外的に最終的 に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 井龍 大「専従」	経営企画部門で観光、物産分野に携わり、各事業の運営を行ってきた。当社の経営と、各種団体との調整を行う。取組についての最終意思決定を行う。
データ収集・分析等 の専門人材（CM O：チーフ・マーケ ティング・オフィサー ※必ず記入すること	（氏名） 新留 伸一「専従」	観光旅行事業部で商品企画、誘客事業に携わり、地域の観光関係者との関係性を築いてきた。経験をもとに、地域のブランディング、マーケティングを行い、観光戦略の策定や観光統計の集計・分析を担う。
データ収集・分析等 の専門人材（CMO 補）	（氏名） 宮路 幸裕「兼任」 （出身組織名） アイデアパートナーズ(株)	九州の地方創生のプランニングを行うアイデアパートナーズ株式会社に勤務。本協会の立ち上げ以前から戦略策定、設立、運営支援等の実施や町の総合戦略等の策定に携わる。MBA修了。
財務責任者 （CFO：チーフ・ フィナンシャル・オ フィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 井龍 大「専従」（兼務）	同上
旅行部門責任者 （観光旅行事業部 長）	（氏名） 三宅 泰史「専従」	旅行会社の勤務経験があり、ツアー造成に長けている。商品開発を通じた地域の魅力向上と、観光誘客に取り組む。

(別添) 様式 1

甌島事業部門責任者 (上甌島支店長)	(氏名) 岸 広徳「専従」	市職員OBで地元の出身者であり、地域の方々とのネットワークを持っている。商品開発や地域イベント、関係者との調整を担う。
物産部門責任者 (物産事業部長代理)	(氏名) 満倉 正浩「専従」	食品の商品開発、Eコマース販売の経験を活かし、地域産品の開発に取り組む。実店舗とEコマース販売により消費額アップに努める。
放送部門責任者 (放送事業部長)	(氏名) 楠元 貴宏「専従」	コミュニティFM事業の運営を担う。メディア事業として自社での情報発信や、他メディアとの連携を通して幅広いプロモーションを行う。
市街地部門責任者 (中心市街地事業部長)	(氏名) 谷口 和浩「専従」	市街地部の活性化を目的に、情報発信・イベント事業、施設管理を行う。飲食店や小売店舗との連携を図る。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	<p>【薩摩川内市】6部16課</p> <p>薩摩川内市は、平成21年を観光元年と位置づけて平成22年4月から観光課とシティセールス推進課(平成24年度から観光・シティセールス課に改組)を中心にシティセールス¹(以下「CS」と略す。)事業及び観光事業を展開してきた。</p> <p>現在、副市長を本部長とする「CS推進本部」において庁内の連携・調整を図りながら諸事業を進めている。</p> <p>① 商工観光部 観光CS課 ：観光振興事業、物産販路拡大事業、甌島ツーリズム事業プロモーション、マーケティング</p> <p>② // 経済政策課：企業振興事業、地域公共交通事業</p> <p>③ // 産業戦略課：企業誘致事業、友好都市交流事業</p> <p>④ // スポーツ課：スポーツイベント事業、スポーツ合宿誘致事業</p> <p>⑤ // 国体推進課：国民体育大会に伴う旅行客受入事業</p> <p>⑥ 企画政策部企画政策課：定住支援事業</p> <p>⑦ // 地域政策課：ぼっちゃん計画²事業、コミュニティビジネス事業</p> <p>⑧ // 情報政策課：地域情報化事業</p> <p>⑨ 市民福祉部環境課：蘭牟田池(ラムサール条約登録湿地)観光事業</p> <p>⑩ 農林水産部農政課：農産品振興事業</p> <p>⑪ // 畜産課：畜産品振興事業</p> <p>⑫ // 林務水産課：林産品及び水産品振興事業</p> <p>⑬ // 六次産業対策課：六次産業化事業</p> <p>⑭ 建設部建設整備課：社会資本整備(公園、展望所、トイレ、スポーツ施設、道路等)事業</p> <p>⑮ // 都市計画課：景観事業、サイン整備事業</p> <p>⑯ 教育委員会文化課：文化資源振興事業、文化イベント事業</p>	
連携する事業者名及び役割	<p>① 川内商工会議所：企業振興、食イベント事業</p> <p>② 薩摩川内市商工会：企業振興、海外販路拡大</p> <p>③ 地元金融機関³：企業振興、ビジネスマッチング</p> <p>④ 九州旅客鉄道(株)：旅行商品事業</p> <p>⑤ 肥薩おれんじ鉄道(株)：旅行商品事業</p> <p>⑥ 甌島商船(株)：旅行商品事業</p>	

¹ 本市は「シティセールス」を「地域観光資源を再度見つめ直して、更に磨きをかけながら市内外へ総合的なプロモーションを行うこと」と定義し、雇用拡大と市民所得向上を目標としている。

² 「ぼっちゃん計画」は、総務省の地域おこし協力隊制度を活用した本市独自の事業である。大都市部の若者を当該地域に受け入れて地域住民と一緒に旅・食・品に関する商品開発に取り組んでいる。「ぼっちゃん」とは、地域おこし協力隊員が地域に「ぼっちゃん」としずくのように落ちて地域おこしの波紋が広がることをイメージしている。

³ 「地元金融機関」とは、鹿児島銀行、南日本銀行、鹿児島相互信用金庫、鹿児島信用金庫のことである。

(別添) 様式 1

	<p>⑦ 甌島ツーリズム推進協議会：環境保全・活用、観光振興事業</p> <p>⑧ 薩摩川内市グリーン・ツーリズム推進協議会（以下、「G T協議会」と略す。）：教育旅行受入事業</p> <p>⑨ 薩摩川内市ホテル旅館組合、市比野・入来・祁答院・東郷ホテル旅館組合：宿泊施設魅力向上</p> <p>⑩ 鹿児島県飲食業生活衛生同業組合薩摩川内支部：ご当地グルメ開発・販売</p> <p>⑪ NPO法人薩摩川内市体育協会：スポーツ合宿事業</p>				
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>【該当する登録要件】② (概要) 当協会を事務局とした、観光資源の関係者、宿泊事業者、交通事業者、商工会、行政で構成する「薩摩川内市観光DMO連絡会」にて、取り組みに対する協議、連携強化を図っている。</p>				
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>・薩摩川内市CSサポーター制度 観光イベントや観光誘客が期待できる話題を告知しようと、市が設けた制度である。当協会と市はサポーターに対して情報を提供し、各サポーターにはボランティアとして各自の知り合いに口コミやSNSで話題を広げていただく。</p>				
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>(活動の概要)</p> <p>当協会は会社設立⁴後、経営企画部、観光旅行事業部、物産事業部及びこしきしま事業部を置き、諸事業を展開してきた。平成27年10月には株式会社まちづくり薩摩川内を吸収合併して放送事業、中心市街地事業が新たに加わった。</p> <p>現在、観光旅行事業部は第二種の旅行業を登録し、観光案内、観光イベントの企画運営、「きゃんぱく⁵」など着地型旅行の主催や旅行ユニット商品の企画・卸販売、旅行会社のランドオペレーション業務の受託、観光ツアー誘致、G T協議会の運営等を行っている。</p> <p>物産事業部は、地域商社として海外も含めた市外販路の拡大をはじめ、川内駅物産施設（駅市 薩摩川内）や通信販売サイトの運営と、商品開発等に取組んでいる。</p> <p>こしきしま事業は、観光案内やイベント運営のほか、甌島ツーリズム推進協議会の観光振興部会の事務局を担い、観光素材の開発やサービス向上に努める。</p> <p>放送事業部はコミュニティFMのFMさつませんだい(87.1MHz)を運営しており、市民をはじめ来訪者向けの情報提供を担っている。</p> <p>中心市街地事業部は、休憩所「まちあいサロン」を拠点とし、市街地の情報発信、空き店舗解消の事業やイベント等に取組み、市街地の活性化に取り組んでいる。</p> <table border="1" data-bbox="459 1503 1437 1800"> <thead> <tr> <th data-bbox="459 1503 644 1547">事業</th> <th data-bbox="644 1503 1437 1547">実施概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="459 1547 644 1800"> 情報発信・プロモーション </td> <td data-bbox="644 1547 1437 1800"> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年メルマガ配信（継続） CSサポーターへ毎週メルマガの配信を行う。 ・2013年観光サイトの運営（継続） 市観光サイトを市と共同で運営、管理している。 ・2019年サムライツーリズムプロモーション事業 インバウンドによる観光客を誘客するため、羽田空港でイベントを開催し、チラシ等を配布した。 </td> </tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ・2013年メルマガ配信（継続） CSサポーターへ毎週メルマガの配信を行う。 ・2013年観光サイトの運営（継続） 市観光サイトを市と共同で運営、管理している。 ・2019年サムライツーリズムプロモーション事業 インバウンドによる観光客を誘客するため、羽田空港でイベントを開催し、チラシ等を配布した。
事業	実施概要				
情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ・2013年メルマガ配信（継続） CSサポーターへ毎週メルマガの配信を行う。 ・2013年観光サイトの運営（継続） 市観光サイトを市と共同で運営、管理している。 ・2019年サムライツーリズムプロモーション事業 インバウンドによる観光客を誘客するため、羽田空港でイベントを開催し、チラシ等を配布した。 				

⁴ 当協会は、平成25年4月に当時のNPO法人薩摩川内市観光協会と薩摩川内市特産品協会が合併して発足した。当協会のウェブサイトは、<https://satsumasendai.gr.jp/>であり、当協会と薩摩川内市の共同で運営している。

⁵ 「きゃんぱく」の正式名称は、「薩摩川内スピリッツ・きゃんせ博覧会」であり、市内各地で有料の着地型の観光体験プログラムやバスツアー等を提供する旅行商品である。旅行会社が販売する旅行商品に組み入れられたプログラムもある。<https://canpak.jp> 平成22年度から、冊子・チラシ・Webで体験プログラムを提供し、市内外からの参加者がいる。

受入環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・2014年甌島ワンストップ窓口の設置（継続） 甌島の観光促進に向けて、観光予約・手配を行うワンストップ窓口を設置した。 ・2015年公認観光ガイド事業 旅行者の安全性と利便性を高め、おもてなしあふれる案内サービスとガイドの資質向上を図るため、薩摩川内市観光ガイド公認制度を作り、公認観光ガイドを認証した。 ・2016年JNTO認定外国人観光案内所 案内所の機能向上のため、川内駅と入来麓の観光案内所を登録した。
観光資源の磨き上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・2013年きゃんぱく事業（継続） 体験型プログラムの磨き上げを行う。 ・2016年観光地魅力創造事業（サムライツーリズム推進） 入来麓武家屋敷群を中心とする「サムライ文化」をテーマに外国人向けの「サムライツーリズム」の確立、情報発信 ・2017年観光地魅力想像事業（川内高城温泉観光地域づくり） 川内高城温泉において観光動向や素材を調査し、地域活性化につながる資源の磨き上げを行い、商品づくりを行った。 ・2019年、2020年 世界水準のDMO形成促進事業 専門家とともにインバウンド向け体験型コンテンツの造成を行う。

(定量的な評価)

	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和1年度)	2020年度 (令和2年度)
純売上高	467,632千円	475,016千円	462,766千円
うち観光物産に関する事業※市受託事業を除く	205,835千円	234,663千円	262,603千円
純利益	8,377千円	7,520千円	6,906千円
取引業者数・従業員数 ※毎年5月1日時点	189社 2,916人	190社 2,869人	220社 2,871人

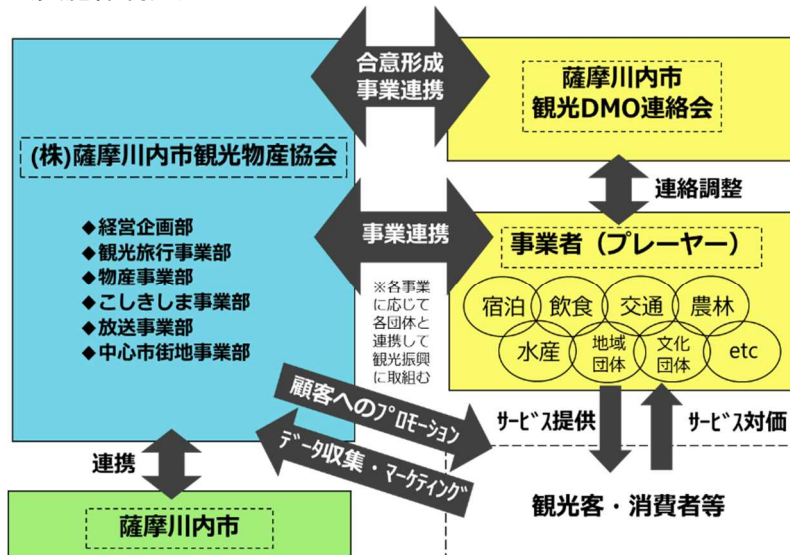
実施体制

※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること(別添可)。

(実施体制の概要)

当協会を事務局とした、観光資源の関係者、宿泊事業者、交通事業者、商工会、行政で構成する「薩摩川内市観光DMO連絡会」にて、取り組みに対する協議、連携強化を図っている。

(実施体制図)



2. 観光地域づくり法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

薩摩川内市は平成 16 年 10 月に全国でも稀な外界離島（甌島列島）を含む 9 市町村が合併し誕生した人口約 9 万 3 千人の都市である。その市域面積は 682.94 平方キロメートルと九州でも有数の広さを有しており、離島を含む広域であることと 9 市町村という広域合併であったこと等を鑑み、当協会は、単独市による区域をマーケティング・マネジメント区域として設定する。

【観光客の実態等】

	単位	2016 年度 (H28 年度)	2017 年度 (H29 年度)	2018 年度 (H30 年度)	2019 年度 (R1 年度)	2020 年度 (R2 年度)
観光客数	人	3,553,251	3,550,847	3,608,053	3,476,442	2,586,365
うち 宿泊者数	人	336,291	329,064	340,569	341,103	293,796
観光ガイド 案内件数	件	364	367	273	205	203
甌島商船 旅行会社経由 乗船者数	人	9,104	10,879	8,558	9,247	11,169
教育旅行 受け入れ人数	人	667	1,174	1,043	525	0
きゃんぱく 参加者数	人	15,992	13,873	13,009	9,567	652

(別添) 様式 1

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

市内の主要な観光資源については、以下の活用区分を基本に関係者が実施する諸事業と戦略を共有して活用を図る。

区分	概要	景観	食	商品開発	地域づくり	滞在	イベント	物産販売	ガイド
観光 スポーツ 施設	せんだい宇宙館、川内歴史資料館・川内まごころ文学館、旧増田家住宅・入来郷土館、生態系保存資料館アクアタイム、下甕郷土館、甲冑工房丸武、国立天文台VERA入来観測局、SSプラザせんだい			○	○	○	○		○
	薩摩川内市総合運動公園、樋脇総合運動場、樋脇グラウンドゴルフ場、樋脇屋外人工芝競技場、入来総合運動場、丸山自然公園					○	○		
	駅市 薩摩川内（川内駅）、道の駅樋脇遊湯館、薩摩海食堂、ターミナル（川内港、里港、長浜港）、甕島活性化施設（中甕、手打）、川内とれたて市場		○	○	○	○	○	○	○
自然 食・食材	寺山公園、川内川あらし、西方海水浴場、藤本の滝、蘭牟田池（ラムサール条約登録湿地）、甕島国定公園、長目の浜、瀬尾観音三滝、鹿島断崖、ナポレオン岩、手打海岸	○		○	○	○	○		○
	川内高城温泉（名湯百選）、市比野温泉、蘭牟田温泉川内市街地温泉、入来温泉	○	○	○	○	○	○	○	○
	カノコユリ	○		○	○	○		○	○
	いちご、ごぼう、らっきょう、きんかん、ぶどう、茶、水稲、海洋深層水		○	○	○	○	○	○	
歴史 文化 産業	新田神社・可愛山陵、薩摩国分寺跡、泰平寺、倉野磨崖仏、藤川天神、入来麓武家屋敷群（日本遺産、国選定重要伝統的建造物保存地区）、清色城跡（国指定）、内之尾の棚田（棚田百選）、里麓武家屋敷群（日本遺産）、手打麓武家屋敷群（日本遺産）、こしきミュージアム（恐竜化石展示施設）、助八古道	○	○	○	○	○	○	○	○
	入来神舞、東郷文弥節人形浄瑠璃（国指定）、甕島のトシドン（ユネスコ無形文化遺産）			○	○	○	○	○	○
	川内川（長崎堤防、江の口橋、輪中提）、次世代エネルギー施設（バイオマス、風力、小水力等）、甕大橋	○		○		○	○		○
イベント	川内大綱引、川内川花火大会、薩摩川内はんやまつり、市比野温泉よさこい祭り、甕島アクアスロン大会等		○	○	○	○	○	○	○

※表中の○は活用区分に該当することを示している。区分は景観：景観形成・保全、食：食の提供、商品開発：旅・食・品に関する商品開発、地域づくり：観光地域づくり、滞在：滞在コンテンツ・プログラムの提供、イベント：観光イベントの実施、物産販売：関連商品の販売、ガイド：観光ガイドサービスの提供の意味である。

(別添) 様式 1

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

地域区分 ⁶	ホテル		旅館		民宿		簡易宿泊 その他		計	
	軒数	収容人数	軒数	収容人数	軒数	収容人数	軒数	収容人数	軒数	収容人数
市街地	15	1,258	8	278	11	341	2	285	36	2,162
市街地周辺	0	0	5	326	5	103	0	0	10	429
田園地域	4	424	11	475	0	0	6	81	21	980
甑島地域	3	226	8	205	23	310	4	99	38	840
計	22	1,908	32	1,284	39	754	12	465	105	4,411

【利便性：区域までの交通、域内交通】

1. 区域までの交通

①飛行機

- 東京～鹿児島空港 約 95 分
- 名古屋～鹿児島空港 約 75 分
- 大阪～鹿児島空港 約 65 分
- ※鹿児島空港～川内駅リムジンバス 約 70 分

②九州新幹線

- 博多駅～川内駅 (最速) 約 75 分
- 新大阪駅～川内駅 (最速) 約 236 分
- 鹿児島中央駅～川内駅 (最速) 約 13 分

③自動車

- 鹿児島空港～本市 約 70 分
- 鹿児島市～南九州西回り自動車道
「薩摩川内都 I C」 約 30 分
- 九州自動車道「横川 I C」～本市 約 70 分

④肥薩おれんじ鉄道

- 八代駅～川内駅 約 150 分



2. 区域内交通

- ①路線バス 一般路線バス 約 30 系統 約 280 便 (平日最大)
くるくるバス 2 系統 26 便 (平日最大) ※中心市街地を 1 周 50 分で回る循環型バス
その他の循環・横断バスなど 33 系統 225 便 (平日最大)
- ②タクシー 10 社 164 台
- ③レンタカー 18 社 (本土 11 社、上甑島 4 社、下甑島 3 社)
- ④観光バス 2 路線 (上下甑島・期間限定運行)
- ⑤甑島航路 (甑島商船株)
川内港～甑島 (里港、長浜港) 「高速船甑島」 毎日 2 往復
※高速船甑島は定員 200 人
※川内駅～川内港 (川内港ターミナル) にシャトルバス有
串木野新港～甑島 (里港、鹿島港、長浜港) 「フェリーニューこしき」 毎日 2 往復
※フェリーニューこしきは定員 400 人、乗用車 19 台+8t トラック 6 台又は乗用車 41 台
※川内駅～串木野新港 (いちき串木野市) にシャトルバス有

⁶ 「地域区分」について、「市街地」は、本市の隈之城、川内、平佐西、可愛、亀山、育英、永利及び高来地区、「市街地周辺」は、平佐東、水引、峰山、滄浪、寄田、八幡、城上、吉川、陽成、湯田、西方地区、「田園地域」は樋脇町、入来町、東郷町、祁答院町、「甑島地域」は里町、上甑町、下甑町、鹿島町で区分する。

(別添) 様式 1

【外国人観光客への対応】

「道の駅榎脇」「川内駅観光案内所」「入来麓観光案内所」が外国人観光案内所に認定（JNTO 日本政府観光局）されている。※サービス内容：地域の観光案内を提供、パートタイムや電話通訳等で英語対応が可能等
パンフレットは、英・中・台・韓を制作している。外国語対応が出来る当市公認ガイドも認定している。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	薩摩川内観光物産ガイド「こころ」を活用して実施。
観光統計調査	市内の観光・スポーツに関する施設の利用者数を毎月調査する。また宿泊施設においても毎月の宿泊者数（外国人宿泊者数も含む）の調査、および定期的に宿泊施設の基礎項目（サービス内容、アイテム、従業員数）を把握し、関係者で共有・分析を行う。	対象施設に調査票を送付し実施する。
旅行会社調査	誘致ツアー行程の交通、宿泊、食事、立ち寄り場所に関する評価（満足度）を得て、関係者間で共有し改善を図る。	誘致ツアー主催旅行社に対して、文書アンケート調査を実施する。
きんぱく調査	きんぱくの各プログラムやツアーに関する評価（満足度）、を得て、関係者間で共有し改善を図る。	きんぱくプログラム参加者に対してハガキアンケートやツアー客へアンケートを実施する。

4. 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

薩摩川内市では、人口減少等による地域経済の縮小化が懸念される中、旅・食・品をキーワードにした観光産業の振興の重要性は高まり、交流人口の拡大が求められている。より魅力ある観光地づくりを進めるためには、「シティセールスと観光物産ビジネス」に携わる団体・企業や市民が、様々な取組について「自分事」として考え、自らの役割を果たすことが強く求められる。
このため、観光地域づくり法人を中心に地域全体の取組とすることで、地域経済に好循環をもたらす仕組みを作る。

(2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<p>強み (Strengths)</p> <p>・自地域で積極的に活用できる強みは何か？</p> <p>① 豊富な歴史的・文化的遺産や伝統文化 ② 豊富な自然環境や温泉資源 ③ 知名度の高い祭りやイベント ④ 中国（常熟市）・韓国（昌寧郡）との友好都市締結 ⑤ 多様な農産物</p>	<p>弱み (Weaknesses)</p> <p>・自地域で改善を必要とする弱みは何か？</p> <p>① 長期的に増加傾向にあるゴールド集落⁷ ② 少子化による学校の統廃合及び廃校による、地域での子ども達を中心とした活動の衰退 ③ 根強く残る性別による固定的な役割分担意識や、これに基づく社会通念や慣行</p>

⁷ 「ゴールド集落」とは65歳以上の人口が50%以上の自治会のこと、本市独自の名称である。

(別添) 様式 1

	⑥ 有数の好漁場（甌島地域の周辺海域） ⑦ 海洋深層水の採水（九州で唯一） ⑧ 高等教育機関等の立地（鹿児島純心女子大学、ポリテクカレッジ川内） ⑨ 次世代エネルギーによるまちづくり ⑩ コミュニティビジネスへの前向きな取り組み ⑪ 定住支援施策の充実 ⑫ コンベンション施設の開業	④ 観光人材不足 ⑤ 文化ホールや公民館など公共施設の老朽化の進行による、維持費の増大 ⑥ 離島の医療体制
外部環境	機会 (Opportunity) ・自地域にとって追い風となる要素は何か？ ① インバウンドの進展 ② 六次産業化・農商工連携への関心の高まり ③ 健康やスポーツに対する関心の高まり ④ 九州新幹線の開業による観光交流人口及び経済波及効果の拡大 ⑤ 南九州自動車道の整備推進 ⑥ 甌島の国定公園指定 ⑦ 甌大橋の完成 ⑧ コミュニティやソーシャルビジネスによる地域課題の解決手法の広がり ⑨ 地域の文化・芸術に対する関心の高まり ⑩ 情報通信技術の利活用の広がり	脅威 (Threat) ・自地域にとって逆風となる要素は何か？ ① 少子高齢化の進行 ② 社会保障関連経費の急速な増大 ③ 文化財の保存継承の危機（少子高齢化による後継者不足や文化財保存継承に対する認識不足等） ④ 原子力発電所の安全性に対する国民の関心の高まり ⑤ 公共事業費の削減 ⑥ 社会基盤・公共施設の老朽化の進行による、維持費・更新費の増大 ⑦ 新型コロナウイルス感染症拡大

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

(3) ターゲット

○第1ターゲット層 鹿児島市および鹿児島県内近隣市町村の30代～60代女性
○選定の理由 鹿児島市は当市の隣接市であり新幹線、高速道路で結ばれており、アクセス利便性が良く来訪者が訪れやすい環境である。 2020年度甌島アンケート調査によると、甌島への来訪者のうち約7割が当市を除く鹿児島県内からであり、また40代以上が9割、女性が約6割である。 また当市が力をいれている「きゃんぱく」は、四季折々を楽しめる商品を用意しており、アクセスのよい近隣市町村のお客様に何度でも楽しんでいただけるように商品化をしている。2020年度きゃんぱく調査によると、20歳以上の参加者のうち女性が7割、うち30代～40代が約7割を占めている。 団体客、個人客ともに鹿児島市および県内近隣市町村の30代～60代女性が多いことから、第1ターゲットに選定をした。
○取組方針 ・屋外、3密回避の体験型プログラム造成、プロモーション実施 ・きめ細かな情報発信（ウェブ、SNS） ・ローカルメディアへの露出強化
○第2ターゲット層 福岡、熊本、宮崎、関東、関西からの40代～60代女性

(別添) 様式 1

<p>○選定の理由</p> <p>2020年度甑島アンケート調査によると、甑島への来訪者はコロナ禍で県外は2割程度であったが、その中でも近隣県、福岡が約4割という結果であった。アクセスの利便性と隣県であることから誘客活動がおこないやすく、且つリピーターにもなりやすいと考えられるためターゲットとして選定している。</p> <p>新型コロナウイルスの影響がある中では、九州内の来訪者を第一として準備しつつ、状況が落ち着いてきたら、九州につづき来訪者の多い関東・関西からの来訪者をターゲットとしていく。</p> <p>同調査によると、全体として40代以上の来訪者割合が9割、女性が約6割を占めていることから、第2ターゲットに選定した。</p>
<p>○取組方針</p> <ul style="list-style-type: none">・ 宿泊、体験、交通をセットにした商品造成、エリア内旅行会社への営業・ ホームページの充実、メディアを活用したプロモーション・ 郷土会（関東・関西）向けセールスの実施
<p>○第3ターゲット層</p> <p>アジア（中国（上海）、韓国、台湾、香港）からの訪日外国人</p>
<p>○選定の理由</p> <p>現在は海外からの来訪者は見込めないが、中国（上海）、韓国、台湾、香港は鹿児島空港の就航路線があることと、このうち中国（常熟市）・韓国（昌寧郡）に関しては、友好都市が所在し、これまで培った人的ネットワークを活かして誘客を図る。</p>
<p>○取組方針</p> <ul style="list-style-type: none">・ 国内旅行者向け商品のインバウンド対応化・ 友好都市の旅行会社に対するセールス活動・ ウェブを活用した情報発信・ 来訪した方に積極的にSNSで情報発信をしていただくように促す・ アジアの方に人気がある「おれんじ鉄道」と連携した誘客活動

(4) 観光地域づくりのコンセプト

<p>①コンセプト</p>	<p>KURASHI SATSUMA ～当たり前。といえる幸せ。～</p>
<p>②コンセプトの考え方</p>	<p>地域には、皆が当たり前と思っている事が他地域では当たり前ではないモノ、コトがたくさんある。自然、歴史、食、空間、そして人にフォーカスして、当たり前と言える素晴らしい鹿児島、薩摩を提案していく。そして、地域一体となった観光地域づくりを行う。</p> <p>この理念の下、西暦702年に薩摩国府が置かれた当市が、鹿児島のリーディングタウンとして鹿児島の文化を発信する役割を担い、市内外、国内外のお客様に「薩摩の暮らし」を知って頂きたい。</p>

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
----	----

(別添) 様式 1

<p>戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。</p>	<p>○薩摩川内市観光DMO連絡会 ・当協会を事務局とした、市と関係事業者、地域事業者等で構成する「薩摩川内市観光DMO連絡会」にて、取り組みに対する協議、連携強化を図っている。(年2回)</p> <p>○甑島ツーリズム推進協議会 ・市の「甑島ツーリズムビジョン」を推進するための甑島ツーリズム推進協議会(会長:市長)において当協会は委員として参画している。また、下部組織の観光振興部会活動の事務局を担い主導している。(2カ月に1回)</p> <p>○事業報告会 ・当協会の取引事業者、関係事業者を集め、経営状況や事業報告、事業計画の報告会を行う。(年1回)</p> <p>○株主総会、取締役会 ・株主及び取締役は、市、経済団体、観光関係者がで構成されている。年1回の株主総会と、四半期ごとの取締役会において戦略の協議と共有を行っている。</p>
<p>観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築</p>	<p>○きゃんぱく事業 ・体験プログラムを実施するパートナーを発掘しながら体験プログラムの開発等を支援している。参加者へのアンケート調査を行い、参加者の分析、プログラムに対する評価をパートナーへフィードバックし改善するとともに、プログラムの開発に活用している。</p> <p>○公認観光ガイド ・市観光ガイド公認制度の運営を担い、研修を受けたガイドを公認ガイドとして認定している。</p> <p>○観光案内所運営 ・市が設置する川内駅、入来麓、上甑島及び下甑島の観光案内所の運営を担っている。甑島観光のワンストップ窓口(電話・メール問合せ・ウェブサイト)である「こしきしま観光局」を運用している。 ・お客様から受ける意見・要望等やアンケート結果を関係部署と共有し、サービスの向上に努めている。</p> <p>○旅行会社調査 ・ツアー誘致の旅行会社に対して、ツアー行程の交通、宿泊、食事、立ち寄り場所に関する評価(満足度)を得て、関係者間で共有し改善を図る。</p> <p>○甑島ツーリズム推進協議会 ・同協議会内の観光振興部会の事務局として、地域の観光関係者と受入体制の確認、評価と戦略の協議、商品開発を行っている。</p> <p>○O G T協議会 ・修学旅行生の受け入れを行う同協議会の事務局を担っている。受け入れ家庭に対してアンケート調査を行い、意見の共有とサービスの品質向上に取り組んでいる。</p>

(別添) 様式 1

観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	○ワンストップ窓口 ・旅行業の資格を持っており、個人へのプロモーションや商談会等での旅行会社への誘致活動から、旅の手配や予約をワンストップで受けることが可能である。 ○WEB ・観光サイトを市と共同で運用している。 ・SNSでの情報発信を行っている。 ・CSサポーター向けに情報提供（メルマガ）を行っている。
---------------------------------------	---

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. KPI (実績・目標)

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

(1) 必須KPI

指標項目		2018	2019	2020	2021	2022	2023
		(H30) 年度	(R1) 年度	(R2) 年度	(R3) 年度	(R4) 年度	(R5) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目標	5,376 ()	5,488 ()	4,350 ()	4,960 ()	5,440 ()	6,080 ()
	実績	5,085 ()	5,099 ()	4,940 ()	()	()	()
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	336 ()	343 ()	290 ()	310 ()	340 ()	380 ()
	実績	340 (12)	341 (7)	294 ()	()	()	()
●来訪者満足度 (%)	目標	95 ()	95 ()	95 ()	95 ()	95 ()	95 ()
	実績	96 ()	96 ()	96 ()	()	()	()
●リピーター率 (%)	目標	50 ()	50 ()	50 ()	50 ()	50 ()	50 ()
	実績	41 ()	46 ()	48 ()	()	()	()

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

薩摩川内市を対象とした地域DMOとして、薩摩川内市観光CS課と連携を密にしながら活動を実施することから、観光CS課が調査を行っている薩摩川内市観光統計と同課から受託事業として実施している「きゃんぱく」「旅行商品造成支援事業」のアンケート調査結果をKPIとして採用。

【設定にあたっての考え方】**●旅行消費額**

薩摩川内市観光統計調査及びアンケートの数字を元に、新型コロナウイルスの影響を考慮した延べ宿泊者数をベースにDMO独自でKPIを設定。2023年度に鹿児島国体もあり新型コロナウイルス感染症拡大前以上の消費額回復を目指す。

●延べ宿泊者数

薩摩川内市観光統計調査の数字を元に、DMO独自でKPIを設定、2022年度までに新型コロナウイルス感染症拡大以前に戻し、2023年度は38万人を目指す。

●来訪者満足度

きゃんぱくアンケート調査より、95%という好水準を維持・継続させる。

●リピーター率

きゃんぱくアンケート調査の数字を元に、DMO独自でKPIを設定。50%のリピーター率を目指し、維持・継続させる。現状は県内からのきゃんぱく利用客が多く、市内のリピーター率が高い。日帰りもしやすい県内の利用客のリピーター率をあげ、かつ県外からの新規集客も増やしていくため、平均した50%のリピーター率を維持しようとKPIを設定した。

(2) その他の目標

指標項目		2018	2019	2020	2021	2022	2023
		(H30) 年度	(R1) 年度	(R2) 年度	(R3) 年度	(R4) 年度	(R5) 年度
●着地型旅行商品販売額 (千円)	目標	38,570	41,500	38,450	102,470	60,000	60,000
	実績	()	()	()	()	()	()
●WEBアクセス数 (件)	目標	499,000	549,000	577,000	600,000	650,000	700,000
	実績	()	()	()	()	()	()

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方**【検討の経緯】**

交流人口や宿泊者増加のため、地域の素材を掘り起こし、旅行商品を企画、造成して、自社での販売を強化していかなければならない。あわせて、ホームページやSNSを活用した情報発信が必要なため、販売額、アクセス数をKPIとして設定した。

【設定にあたっての考え方】**●着地型旅行商品販売額**

ワンストップ窓口での手配や、自社ツアー、パック商品の販売、旅行会社へのユニット卸など着地型旅行商品の販売を指す。マイクロツーリズムの推進により甕島への手配旅行が増え、コロナ回復期の旅行助成の活用と、その後の安定した誘客事業により、コロナ前の1.5倍を目指す。

●WEBアクセス数

情報発信サイト「薩摩川内観光物産ガイドこころ」アクセス数は、2020年度はコロナ対策の地域向け情報でアクセスを延ばした。2019年を基準に毎年+5万件増加を目指す。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に(1)収入、(2)支出を記入すること。

※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

(1) 収入

年(年度)	総収入(円)	内訳
2018(H30) 年度	473,435千円	【収益事業収入】 247,783千円 【市受託収入】 219,849千円 【その他収入】 5,802千円
2019(R1) 年度	494,341千円	【収益事業収入】 271,282千円 【市受託収入】 201,734千円 【国からの補助金】 13,054千円 【その他収入】 8,271千円
2020(R2) 年度	486,641千円	【収益事業収入】 294,281千円 【市受託収入】 168,485千円 【国からの補助金】 17,091千円 【その他収入】 6,785千円
2021(R3) 年度	521,700千円	【収益事業収入】 324,220千円 【市受託収入】 187,780千円 【国からの補助金】 9,000千円 【その他収入】 700千円
2022(R4) 年度	496,700千円	【収益事業収入】 300,000千円 【市受託収入】 190,000千円 【国からの補助金】 6,000千円 【その他収入】 700千円
2023(R5) 年度	506,000千円	【収益事業収入】 315,000千円 【市受託収入】 190,000千円 【国からの補助金】 0千円 【その他収入】 1,000千円

(2) 支出

年(年度)	総支出	内訳
2018(H30) 年度	465,057千円	【収益事業費】 254,779千円 【観光振興費】 91,336千円 【物産振興費】 58,705千円 【その他事業費】 35,723千円 【管理費】 24,514千円
2019(R1) 年度	486,821千円	【収益事業費】 272,338千円 【観光振興費】 102,784千円 【物産振興費】 42,949千円 【その他事業費】 34,931千円 【管理費】 33,818千円
2020(R2) 年度	479,735千円	【収益事業費】 292,753千円 【観光振興費】 89,193千円 【物産振興費】 36,575千円 【その他事業費】 33,854千円 【管理費】 27,361千円
2021(R3) 年度	515,790千円	【収益事業費】 311,860千円 【観光振興費】 101,640千円 【物産振興費】 42,590千円

(別添) 様式 1

		【その他事業費】 35,100 千円 【管理費】 24,600 千円
2022 (R4) 年度	489,000 千円	【収益事業費】 285,000 千円 【観光振興費】 101,000 千円 【物産振興費】 43,000 千円 【その他事業費】 35,000 千円 【管理費】 25,000 千円
2023 (R5) 年度	498,000 千円	【収益事業費】 300,000 千円 【観光振興費】 95,000 千円 【物産振興費】 43,000 千円 【その他事業費】 35,000 千円 【管理費】 25,000 千円

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

市の業務委託や指定管理業務等の受託のほか、第二種旅行者として着地型旅行の主催や旅行ユニット商品の企画・卸販売、旅行会社の手配業務の受託と、地域商社として物産の仲介・卸販売、川内駅物産施設（駅市 薩摩川内）やEコマースでの小売販売により収益を獲得する。

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

鹿児島県薩摩川内市は、株式会社薩摩川内市観光物産協会を本市における「地域DMO」として登録したいので、株式会社薩摩川内市観光物産協会とともに申請する。

9. マーケティング・マネジメント対象区域が他の地域連携DMOや地域DMOと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

--

10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	新留 伸一
担当部署名（役職）	観光旅行事業部（マネージャー）
郵便番号	〒895-0024
所在地	薩摩川内市鳥追町1番1号
電話番号（直通）	0996-25-4700
FAX番号	0996-25-4739
E-mail	dmo@cocoro-satsumasendai.co.jp

11. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

(別添) 様式 1

都道府県・市町村名	鹿児島県薩摩川内市
担当者氏名	堀之内 寛郎
担当部署名 (役職)	商工観光部観光・シティセールス課 (シティセールスグループ員)
郵便番号	〒895-8650
所在地	鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号
電話番号 (直通)	0996-22-8115 (内線 4384)
F A X 番号	0996-25-1704
E - m a i l	h.horinouchi@city.satsumasendai.lg.jp

法人名:株式会社薩摩川内市観光物産協会

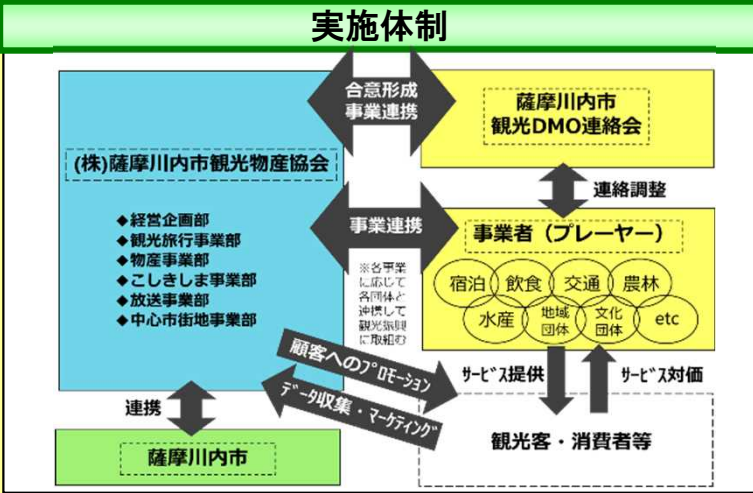
登録区分名:地域DMO

【区域】 鹿児島県薩摩川内市
 【設立日】 2013年4月1日
 【登録日】 2018年12月21日
 【代表者】 井龍 大
 【マーケティング責任者(CMO)】新留伸一
 【財務責任者(CFO)】井龍 大
 【職員数】 55人(常勤55人(役員1人、正職員27人、契約・パート27人))
 【連携する主な事業者】
 川内商工会議所、薩摩川内市商工会、地元金融機関、九州旅客鉄道(株)、肥薩おれんじ鉄道(株)、甕島商船(株)、甕島ツーリズム推進協議会、薩摩川内市グリーン・ツーリズム推進協議会、薩摩川内市ホテル旅館組合、市比野・入来・祁答院・東郷ホテル旅館組合、鹿児島県飲食業生活衛生同業組合薩摩川内支部、NPO法人薩摩川内市体育協会

KURASHI SATSUMA ~当たり前。といえる幸せ。~

地域には、皆が当たり前と思っている事が他地域では当たり前ではないモノ、コトがたくさんある。自然、歴史、食、空間、そして人にフォーカスして、当たり前と言える素晴らしい鹿児島、薩摩を提案していく。そして、地域一体となった観光地域づくりを行う。

記入日: 令和3年11月19日



マーケティング・マネジメントする区域

【主な観光資源】
 新田神社・可愛山稜、市比野温泉、入来麓武家屋敷群、藤川天神、蘭牟田池、甕島国定公園

合意形成の仕組み

【該当する登録要件】②
 【概要】
 当協会を事務局とした、観光資源の関係者、宿泊事業者、交通事業者、商工会、行政で構成する「薩摩川内市観光DMO連絡会」にて、取り組みに対する協議、連携強化を図っている。

法人のこれまでの活動実績

【情報発信・プロモーション】
 ・2013年メルマガ配信(継続)
 ・2013年観光サイトの運営(継続)
 ・2019年サムライツーリズムプロモーション事業
 【観光資源の磨き上げ】
 ・2013年きゃんぱく事業(継続)
 ・2016年観光地魅力創造事業(サムライツーリズム推進)
 ・2017年観光地魅力想像事業(川内高城温泉観光地域づくり)
 ・2019-20年世界水準のDMO 形成促進事業(継続)
 【受入環境の整備】
 ・2014年甕島ワンストップ窓口の設置(継続)
 ・2015年公認観光ガイド事業
 ・2016年JNTO認定外国人観光案内所

戦略

【主なターゲット】
 ①鹿児島市および鹿児島県内近隣市町村の30代~60代女性
 ②福岡、熊本、宮崎、関東、関西からの40代~60代女性
 【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
 ①
 ・屋外、3密回避の体験型プログラム造成、プロモーション実施
 ・きめ細かな情報発信(ウェブ、SNS)
 ・ローカルメディアへの露出強化
 ②
 ・宿泊、体験、交通をセットにした商品造成、エリア内旅行会社への営業
 ・ホームページの充実、メディアを活用したプロモーション
 ・郷土会(関東・関西)向けセールスの実施

観光関連事業者と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

【戦略の多様な関係者との共有】
 観光DMO連絡会、甕島ツーリズム推進協議会
 【サービスについて、仕組みや体制の構築】
 アンケート調査、公認観光ガイド
 【一元的な情報発信・プロモーション】
 ワンストップ窓口、WEB

KPI(実績・目標) ※()内は訪日外国人旅行者に関する数値

項目	2018 (H30) 年度	2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度
旅行消費額(百万円)	目標	5,376 ()	5,488 ()	4,350 ()	4,960 ()	5,440 ()
	実績	5,085 ()	5,099 ()	4,940 ()	()	()
延べ宿泊者数(千人)	目標	336 ()	343 ()	290 ()	310 ()	340 ()
	実績	340 (12)	341 (7)	294 ()	()	()
来訪者満足度(%)	目標	95 ()	95 ()	95 ()	95 ()	95 ()
	実績	96 ()	96 ()	96 ()	()	()
リピーター率(%)	目標	50 ()	50 ()	50 ()	50 ()	50 ()
	実績	41 ()	46 ()	48 ()	()	()

活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

【主な収入】収益事業(観光、物産、放送等) 約294百万円
 市受託収入 約168百万円
 【総支出】 480百万円(管理費27百万円、事業費453百万円)※2021年3月期決算
 【自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針】
 市の業務委託や指定管理業務等の受託のほか、第二種旅行業者として着地型旅行の主催や旅行ユニット商品の企画・卸販売、旅行会社の手配業務の受託と、地域商社として物産の仲介・卸販売、川内駅物産施設(駅市 薩摩川内)やEコマースでの小売販売により収益を獲得する。